

背景・目的

- 気候変動や海洋プラスチック問題などの地球規模の環境問題の解決に向け COP21における「パリ協定」の採択、G20大阪サミットで共有された「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」など、国際的な長期目標が設定される中、関西広域連合においても令和元年5月、「関西プラスチックごみゼロ宣言」を表明。ごみを出さないライフスタイルへの転換を目指し、これまでの3Rをさらに推進し、住民、事業者、団体等と連携したごみのポイ捨て防止や一斉清掃、発生抑制等プラスチックごみゼロに向けた各種活動や普及啓発に取り組んでいるところ。
- 広域産業振興局においては、SDGs 達成に向けて、規制や啓発といった環境政策面の取組みと並行し、脱・廃プラ施策として、プラスチックに代わる素材や製品の開発に向けた情報提供や研究開発支援、新たに創出された製品の販路拡大支援等、産業振興の側面からの取組みを進めていく。（取組み期間：概ね3年間）
- なお、本事業推進については海ごみ抑制プラットフォームを所管する本部及び他分野局とも連携の上、取り組むこととする。

事業概要

- 代替プラスチックの課題・普及可能性等に関する調査の実施**
【調査項目】・代替プラ（紙・生分解性プラ）の課題、開発動向、普及可能性
・関西企業・団体等のビジネス動向、国内外市場規模
・関西圏のリサイクル実態、影響 など
- 代替プラスチックの開発動向・技術シーズ等情報提供、研究開発支援**
・公設試験研究機関等の技術シーズ等の発表会の実施（マッチング、個別相談会等の併設等）
・各種関連セミナーの実施（大手企業の素材開発動向・海外のビジネス動向等）
- 開発製品等のプロモーション支援**
・展示商談会の実施
・広域連合、構成府県市等による認証制度の構築、率先購入の促進

■構成府県市との調整事項等

- 各府県市の代替プラ・プラごみ関連施策の収集、共有
- 率先購入の推進（新商品調達認定制度の活用等）
- 開発製品等の開拓、展示会等の誘導（各府県市経営支援機関等との連携）
- 公設試験研究機関部会との連携

事業スケジュール

R02年度	R03年度	R04年度
代替プラ関連調査	調査結果に応じた研究開発PJ支援や経営支援機関等と連携したマッチング支援 等	事業化
技術シーズ発表会 各種セミナー 展示商談会 等		脱・廃プラの推進
率先購入の推進 認証制度の研究		新製品等の普及